

## 消化性潰瘍 (胃潰瘍・十二指腸潰瘍)

消化性潰瘍とは、胃液中の酸やペプシンによる自己消化によって、胃や十二指腸の粘膜に傷ができた穴があいたりする病気です。

### 消化性潰瘍の 原因

- ヘリコバクター・ピロリ菌の感染
  - 痛み止めやステロイドなどの薬の服用
  - ストレス
  - 喫煙・飲酒
- などがあります。



### 消化性潰瘍の 症状

- みぞおちのあたりが痛い (とくに空腹時)
- 酸っぱいゲップや胸やけが続く
- 黒っぽい血を吐く、コールタールのような便が出る



### 消化性潰瘍の 治療に使われる薬

軽度の(大量出血がみられない)場合、主に胃酸の出過ぎを抑える薬(PPI、H<sub>2</sub>ブロッカー)や、他に粘膜を保護・修復する薬が用いられます。ヘリコバクター・ピロリ菌の感染がある場合、除菌する薬剤を1週間服用します。

	PPI (プロトンポンプ阻害薬)	H <sub>2</sub> ブロッカー	ヘリコバクター・ピロリ除菌薬
代表的薬剤	オメプラール タケプロン パリエット	ザンタック ガスター プロテカジン	ランサップ

## 消化性潰瘍の 服薬上の注意

PPI、H<sub>2</sub>ブロッカー中止後の再発率は高いので、症状がなくても自己判断で休薬せず指示通り服薬することが大切です。ヘリコバクター・ピロリ除菌薬は、飲み忘れがあると除菌成功率が下がったり耐性(薬がききにくなる)菌の増加がおこりますので、正しく服用して下さい(除菌が成功した場合潰瘍の再発率が著明に低くなることがいわれています)。

## 消化性潰瘍の 生活上の注意(特に治療初期)

- ストレスを解消し規則正しい生活を心がけましょう。
- 食事は塩分、香辛料を控え、消化のよいものを摂るようにしましょう。
- タバコ、お酒は、胃酸の分泌を促進しますので控えるようにしましょう。
- コーヒーも胃酸の分泌を促進します。どうしても飲みたい方は、「薄めにする」「空腹時をさける」「ミルクを入れる」ことを心がけてください。

